



ピー ティー アール ピー ティー アール アール シー

PTR600/PTR600RC

パワートレーサー

お取り扱い方法



PTR600 についてのよくあるご質問にお答えします！

本体でこんな時は！

シーン... 電源が入らない	? ? 探索が不安定になる	シーン... 信号が届かない	 音が変わる*
-----------------------	----------------------	-----------------------	------------

電池不足の可能性▶電池交換または充電をしてください

 本体の充電端子に充電器を直接挿して充電 PTR 600RC	 本体から取り出した電池を専用の充電器へ PTR 600
---	---

*強感度の場合ノイズの可能性もあります

探索時のご質問！

必ずプラグアダプタコードを使用して、単独のアース（別回路）をとってください

正しい方法でスキャンが出来ているかご確認ください

- 受信不明瞭
- 目的線以外も反応する
- ノイズの影響を強く受ける

たとえば
盤内アース、鉄筋、ダクト、水道管などにアースするんだ

- 受信機に覚え込ませるように数回スキャンしてください
- スキャンするごとに「強」または「弱」のボタンを押して、リセットしながら確認します

正しい探索結果が得られない？

～ご確認ください～

確認1：ケーブルに受信機が接触しているか

確認2：受信機の角度は直角か

○ しっかり接触 または同じ距離

○ しっかり等間隔で探索
3m 以内の受信感度があります

まっすぐ平行に

○ ケーブルに対して直角

受信感度に差がつく

線と平行に、同じ距離で探索します

結果が分かるまでスキャン

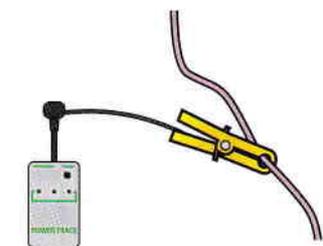
クランプ送信ができない？

～ご確認ください～

確認1：クランプの口は、完全に閉じているか

確認2：探索するケーブルの短い側をアース接続しているか

クランプ受信は必ず「強」ボタンを使ってください



探索するケーブルの反対側が極端に短い場合

短い側をアース接続

0~2m

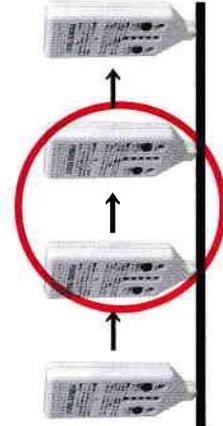
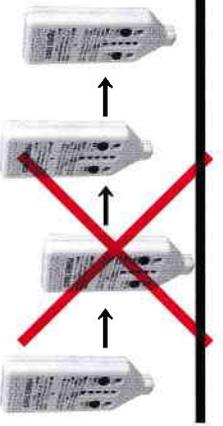
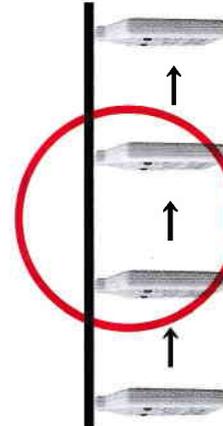
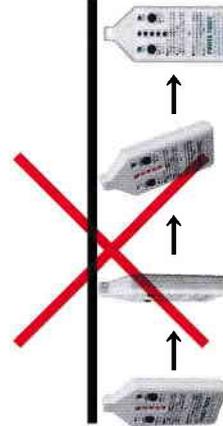
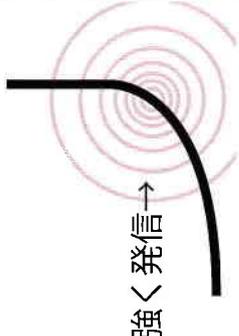
アース

クランプは消費電力が大きいので、使うときは送信機・受信機の電池を満タンにしてください



操作のポイント

故障かなと思われる前に

<p>受信機の探索距離を一定に保ちます</p> <p>ケーブル確認は目的線に受信機を接触させます</p>  <p>受信機とケーブル間が不均一の場合は受信感度に差異が生じ識別が困難</p> 	<p>受信機の探索方向を固定します</p> <p>ケーブルに対して常に直角方向で強い受信が得られます</p>  <p>直角・斜め・平行を取り交ぜると受信感度に差異が生じる為不可</p> 	<p>ケーブルが湾曲している場合の対応</p> <p>ケーブルのカーブ点では信号が干渉している為直線部分と比較し、発信が強くなる傾向になります。したがってこの部分に受信機が接触した場合は他の部分で信号が捕捉しにくくなります。この際、探索を再開する為にリセットボタンを押して感度を最大に戻す必要があります。</p> 	<p>受信機を素手で持ち受信感度を高めま</p>  <p>感度 (良)</p> <p>感度 (低)</p>
---	--	---	---

<p>よくあるご質問</p> <ol style="list-style-type: none"> ①電源が入らない ②探索が不安定になる ③信号が届かない ④ピーという音が鳴り続ける 	<p>対応方法</p> <p>電池交換又は充電をして下さい</p> <p>本体の充電端子に充電器を直接挿して充電</p>  <p>PTR 600</p> <p>PTR 600RC</p> <p>GP200&QC900</p>
<ol style="list-style-type: none"> ⑤受信不明瞭 ⑥目的線以外も反応する ⑦ノイズの影響を強く受ける 	<p>例：盤内アース・鉄筋・ダクト・水道管等</p>  <p>送信信号が2線間で相殺され不具合が生じる</p> <p>コンセントに直接接続すると送信出力が弱まり距離と識別機能が低下</p> <p>クリップの一方をアースに接続(無極性)もう一方のクリップを目的線に接続</p>
<ol style="list-style-type: none"> ⑧音とLEDが消える 	<p>マイクプロセッサが最大レベルの信号を受信すると自動的にそれ以下の信号をゼロとみなすため、受信機の【強】又は【弱】ボタンを押してごまめに感度をリセットします。(最大感度で探索を再開します)</p>  <p>信号レベル</p> <p>大</p> <p>小</p>
<ol style="list-style-type: none"> ⑨クランプ送信ができない 	<p>●探索するケーブルの反対側が極端に短い場合 (0～2 m) (短い側をアース接続します)</p> <p>●クランプの口が完全に閉じているかを確認下さい</p> <p>●電池を交換して下さい (クランプは消費電力が大)</p> <p>★詳しくは別紙「PC-33 非接触クランプ」の取扱説明書をご参照ください</p> 

漏電ブレーカーがご心配な場合は盤内アース以外の単独アースをご利用下さい(例:鉄筋・鉄柵等)

漏電ブレーカーの許容値は状況によって異なる為、送信機から対地間に8mAの電流が流れる事が心配の場合はニュートラ線又はグラウンド線をご利用頂けます。但しこの場合は盤内アース以外の単独アースをご利用下さい(例:鉄筋・鉄柵等)